

屋上緑化にはいろいろな制約があり、注意や工夫が必要です。技術や研究も日進月歩。事前に専門家と十分に検討し、いつまでも私たちに潤いと憩いを与えてくれるよう、屋上緑化を上手に育てていきましょう。

ワンポイント注意点

1 **軽い材料を使う**：屋上緑化用の軽量土壌を使うなど、建築物の構造に合った重さの材料を使います。建築物の施工業者や設計者に、建築物の強度や防水などの状態を確認してもらい、計画を立てましょう。



2 **かかせない^{かんすい}灌水**：地上に比べて乾燥しやすいために、水まきは欠かせません。水道設備は必ず設置しましょう。自動灌水装置^{かんすい}があれば、長期の不在でも安心です。建築物の強度に問題がなければ、雨水の散水利用も環境にやさしい方法です。

3 **屋上エチケット**：屋上の柵のそばには、近隣の家の窓などが見えないように、目の高さまでであるような樹木を目隠しとして植えるなど、近所のプライバシーに気を使いましょう。

4 **屋上にあう植物選び**：風や日当たり、載せられる土の厚み等は建築物ごとに違います。それぞれの屋上の環境に合った植物を選びましょう。

5 **風には特に注意**：樹木は、風で倒れないように固定するほか、大きくならないように定期的な剪定管理をします。落ち葉や土、ゴミなどの落下で、近隣が迷惑しないように気をつけましょう。

6 **排水は大丈夫？**：植栽地から流れた土や、落ち葉が排水口につまり思わぬところで水漏れが…！施工時に植栽地の下に排水層を設け、排水口の形などにも工夫を。清掃はまめに行いましょう。

7 **床面を保護する**：根が伸びて屋上の床面を傷つけないよう、必ず防根シートを敷きましょう。

屋上緑化の楽しみ



季節を楽しむ

季節の移ろいを感じられるものを植えてみましょう。花を楽しむ。実を楽しむ。紅葉を楽しむ。季節によって表情を変える屋上緑化を眺めているのは、きっと心が休まることと思います。

収穫を楽しむ

野菜やハーブ、果物作りなどに挑戦してみても？水やりは、気をつけて行う必要がありますが、屋上は、風通しがよく、日当たりもいいので、作物が病気になるにくいなどの利点があります。近隣への飛散も考慮し、無農薬を心がけるのがポイント。植えるものは、水はけがよく、日当たりのよい場所を好む野菜などで、根菜類は、根があまり深く伸びないものを選びましょう。



十五庭の畑で収穫した野菜

出合いを楽しむ

屋上緑化には、春や夏にはチョウが花の蜜を求めて飛び交い、秋には風に乗ってきた赤とんぼがはねを休めます。そして野鳥たちは木の实をついばみにやってきます。屋上のオアシスは、小さいいきものたちの憩いの場にもなるようですね。



ツマグロヒョウモン

一目黒十五庭^{とうごてい} 屋上緑化への誘い^{いざな}



ミスト発生装置による霧

みどりの屋根をつくりましょう

目黒区では、樹木の減少やヒートアイランド現象などによる地域環境の悪化を和らげるために、助成制度などにより屋上や壁面の建築物の緑化に取り組んでいます。

『目黒^{とうごてい}十五庭』は、屋上緑化の工夫を集めた見本庭園です。屋上緑化を実施する際のご参考に、また**広い空とみどり**と**季節**をお楽しみにご来園ください。



区の鳥
シジウカラ



野の鳥の歌が聞こえるまち 目黒区
目黒区は「生物多様性地域戦略ささえあう生命の輪
野鳥のすめるまちづくり計画」を推進しています

地球のいのち、つないでいこう



ささえあう生命の輪^{いのち} 目黒区生物多様性

(屋上緑化・壁面緑化助成制度はパンフレット・区ホームページをご覧ください。)